



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 株式会社焼肉坂井ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2694 URL <https://ys-holdings.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 仁志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山下 淳 TEL 052-910-1729
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,737	4.0	6	△93.3	3	△96.7	△21	—
2025年3月期第1四半期	5,515	3.1	93	△3.1	111	△24.6	69	△48.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △21百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 70百万円(△47.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△0.09	—
2025年3月期第1四半期	0.30	0.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	15,809	6,610	41.8
2025年3月期	16,610	6,752	40.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,610百万円 2025年3月期 6,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,004	2.0	613	30.8	571	33.1	350	—	1.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	239,866,162株	2025年3月期	239,866,162株
2026年3月期1Q	4,401,595株	2025年3月期	4,401,545株
2026年3月期1Q	235,464,588株	2025年3月期1Q	235,193,841株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、訪日外国人客の消費拡大等により、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で、不安定な国際情勢や円安による原材料価格及びエネルギー価格の高騰の継続や、アメリカの通商政策による影響等により、先行きの極めて不透明な状況が続いております。外食業界におきましても、インバウンド需要の高まり等を受けて外食需要は堅調に推移しているものの、国産米をはじめとする原材料価格、物流費、人件費及び水光熱費等の様々なコストの高騰により、依然として極めて厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでも、物価高によるお客様の外食控えや来店頻度の低下等の傾向は見られたものの、インバウンド需要に加えて、主力事業である焼肉事業をはじめ、寿司事業や首都圏を中心とした居酒屋事業において4月の歓送迎会の需要が増加したこと、ならびに日常食・ファーストフード事業において新規出店を行ったこと等を背景として、第1四半期連結累計期間の売上は堅調に推移いたしました。しかしながら、6月は月平均気温が統計開始以降最高となるなどの猛暑となったことで、来店者数の減少等により売上は前年を下回り、原材料価格や人件費、水光熱費等のコストの高騰による影響と合わせて、業績を悪化させる原因となりました。

新規出店の取り組みにつきましては、主力事業である焼肉事業に次ぐ第2の柱とすべく、日常食・ファーストフード事業においてオムライス専門店「おむらいす亭」の積極展開を従来より進めておりますが、当第1四半期連結累計期間においては「北九州イオンモール八幡東店」を6月に出店いたしました。今後も、主力事業への集中的な投資を行いながらも成長業態への投資を行い、収益力の拡大、強化を図ってまいります。

また、海外では、フランチャイズチェーン方式を用いて中国に展開しております「手のひら食パン うさぎの杜べーカリー」の新規出店として、上海市で、4月に「上海五角場店」が、6月に「人广来福士店」がそれぞれ開店いたしました。加えて、同様の方式で台湾・韓国などに展開しております「平禄寿司」も、中国におきまして、北京市で5月に「国貿商城店」が、寧波市で6月に「盛世里店」がそれぞれ開店いたしました。引き続き同様の方式でアジア圏を中心に出店を強化するほか、アメリカなど新たなエリアにおいても、アジア圏と同様にフランチャイズチェーン方式を活用して、店舗数の拡大を図ってまいります。

今後も当社グループといたしましては、焼肉事業を中心に、寿司事業、居酒屋事業、日常食・ファーストフード事業など多くの事業を運営する強みを活かしつつ、より安心・安全な商品提供を心掛け、お客様にご満足いただける店舗づくりに努め、安定的な発展と業績回復に取り組んでいく所存です。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの直営店舗数は、契約終了、不採算店の整理及び改装に伴い6店舗を閉店した一方で、1店舗の新規出店と3店舗の譲受を実施し、288店舗となりました。なお、FC156店舗を加えた総店舗数は計444店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高57億37百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益6百万円（前年同期比93.3%減）、経常利益3百万円（前年同期比96.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、21百万円（前年同期は親会社に帰属する四半期純利益69百万円）となりました。

なお、当社グループは「外食事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、158億9百万円となり、前連結会計年度末と比較し、8億1百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債総額は、91億98百万円となり、前連結会計年度末と比較し、6億60百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金、未払法人税等、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産額は、66億10百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億41百万円減少いたしました。主な要因は、資本剰余金が配当金の支払いにより減少し、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,936,257	4,125,910
売掛金	632,898	511,226
商品及び製品	30,116	30,654
原材料及び貯蔵品	294,264	278,277
その他	549,809	522,991
貸倒引当金	△10,444	△13,567
流動資産合計	6,432,902	5,455,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,347,442	2,460,156
土地	3,638,866	3,638,866
その他（純額）	267,965	270,778
有形固定資産合計	6,254,274	6,369,801
無形固定資産		
のれん	260,291	243,348
その他	119,692	119,163
無形固定資産合計	379,983	362,511
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,145,609	2,197,201
その他	1,820,554	1,841,781
貸倒引当金	△422,568	△417,618
投資その他の資産合計	3,543,596	3,621,364
固定資産合計	10,177,854	10,353,677
資産合計	16,610,756	15,809,169
負債の部		
流動負債		
買掛金	870,310	728,422
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,579,159	1,516,331
未払法人税等	132,567	34,064
引当金	60,924	42,856
資産除去債務	20,892	33,424
その他	1,441,991	1,453,246
流動負債合計	4,405,845	4,108,345
固定負債		
長期借入金	4,186,259	3,820,946
退職給付に係る負債	9,480	9,480
資産除去債務	856,603	870,629
その他	400,557	389,004
固定負債合計	5,452,901	5,090,061
負債合計	9,858,747	9,198,407

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,765,703	6,647,574
利益剰余金	507,755	485,986
自己株式	△624,001	△624,004
株主資本合計	6,749,458	6,609,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,031	1,206
その他の包括利益累計額合計	1,031	1,206
非支配株主持分	1,519	-
純資産合計	6,752,009	6,610,762
負債純資産合計	16,610,756	15,809,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,515,330	5,737,340
売上原価	1,846,391	1,887,864
売上総利益	3,668,938	3,849,475
販売費及び一般管理費	3,575,540	3,843,210
営業利益	93,398	6,265
営業外収益		
受取利息	1,180	1,253
受取配当金	488	514
持分法による投資利益	-	5,732
業務受託料	7,918	8,711
受取解約金	125	-
受取保険金	298	3,860
助成金収入	88	300
為替差益	17,193	-
その他	2,762	5,726
営業外収益合計	30,054	26,099
営業外費用		
支払利息	12,595	18,988
貸倒引当金繰入額	△1,795	△0
為替差損	-	8,397
その他	808	1,272
営業外費用合計	11,608	28,657
経常利益	111,844	3,707
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	3,840
特別利益合計	-	3,840
特別損失		
固定資産除却損	359	575
店舗閉鎖損失	1,373	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,767	-
減損損失	-	999
特別損失合計	3,500	1,575
税金等調整前四半期純利益	108,344	5,972
法人税、住民税及び事業税	41,969	34,714
法人税等調整額	△3,542	△7,156
法人税等合計	38,426	27,557
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	69,917	△21,585
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	183
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	69,917	△21,768

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失	69,917	△21,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	174
その他の包括利益合計	305	174
四半期包括利益	70,223	△21,410
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,223	△21,594
非支配株主に係る四半期包括利益	-	183

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

当社グループは「外食事業」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは「外食事業」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	86,356千円	92,285千円
のれんの償却額	13,864千円	16,942千円